



学校教育目標 「志をもち、主体的に行動する生徒」

- 自ら学び、共に深め合う授業
- 自他の良さを認め、共に高め合う集団
- 自ら鍛え、共に磨き合う心と体
- 地域と共に生きる姿勢

「憧れの存在に」

校長 佐藤 哲洋

10月が終わり、今年度前期の活動が終了します。前期生徒会スローガン「飛躍」のもと、生徒会長の市川さんをはじめとする生徒会本部役員、専門委員長、副委員長、学年委員を中心に、よりよい四中づくりに主体的に取り組んでくれました。本当にありがとうございました。スローガン「轟け～想いが重なる熱響の鼓動～」のもと開催された四魂祭文化の部、体育の部は、前期の活動の締めくくりにあふさわしい行事になったと感じています。特に3年生は最上級生としての活躍を見せてくれました。

文化の部では、浜田さんの英語弁論から始まり、応援団の演舞、吹奏楽部の演奏、7・8組の心のこもった群読と合唱は、3年生を中心に日頃の学習や練習の成果をいかに発揮し、学習や練習を地道に積み重ねることの大切さを表現してくれました。合唱では、3年間の歌声の集大成を示してくれたと思います。クラス合唱、学年合唱ともに、歌詞の意味をかみしめ、想いを込めて歌う3年生を見て、最後の四魂祭への想いを感じました。美しいハーモニーを響かせて、これまで積み上げてきた歌声文化の素晴らしさを表現してくれて感動しました。また、この学年合唱「青い鳥」は10月10日に開催された市内音楽研究発表会でも、3年生の代表が素晴らしい歌声で披露しました。さらに、美術部のスローガン掲示や家庭科部の展示作品も、3年生を中心に、これまでの活動の成果を表現したもので、本当に素敵でした。

体育の部でも、3年生を中心に、事前の準備、練習から当日の活動、後片付けまで生徒主体で、四魂祭を創り上げていました。皆さんの競技に取り組む真剣な表情、そして、仲間と共に活動しているときに見せる笑顔は最高でした。四中の一体感を示した応援、四魂祭を締めくくる四中ソーランも見事でした。3年生の学年目標は「Be the Best～憧れの存在になる～」です。その目標どおり、後輩たちが憧れる四魂祭を、3年生の行事に取り組む姿で示すことができたと思います。憧れの存在になるということは尊敬される存在になることだと思います。これから卒業までの活動でも、四中の最上級生として、尊敬される3年生として活躍してくれることを期待しています。

2年生、1年生の皆さんも、四魂祭での表現活動はとても素敵でした。団結する姿、一生懸命の取組を見せてくれました。ありがとうございました。この後、生徒会交代式で、3年生からリーダーのバトンを受けます。さらによりよい四中を全校生徒の手で創り上げいきましょう。そして、2年生、1年生の皆さんも、後輩から憧れ、尊敬される存在になるよう期待しています。

これから3年生は進路決定に向かっていきます。11月には定期テストもあります。四魂祭という大きな学校行事を終え、落ち着いて学習に取り組む時です。以前話したように、力を付ける授業を全校生徒の手で創っていきましょう。



【令和7年10月31日 全校集会より】

四魂祭 10月3日(金)文化の部 10月23日(木)体育の部

校舎内に響き渡る歌声や掛け声、生徒たちが体育館、グラウンドで活発に活動する姿が見られる10月でした。四魂祭を通して培った団結力を活かしてこれからも生活していきましょう。文化の部、体育の部の2日間、当日は、多くの保護者の皆様から、生徒へ温かな声援をかけていただきました。大変ありがとうございました。



新しい四中のリーダー

10月27日(月)に辞令伝達式が行われ、令和7年度後期、令和8年度前期生徒会役員、後期学級委員に辞令が渡されました。また、10月31日(金)の生徒会交代式では、新専門委員長・副委員長が生徒会長から任命され、新しいリーダーが全校生徒にお披露目されました。生徒会交代式において、新生徒会長の大島妃代さんが、「元気な挨拶は人と人の心をつなぎ、豊かな歌声は仲間との絆を深め、丁寧な清掃は学校への感謝と誇りを育ててくれます。」と、三大文化を大切にしながら、先輩が創り上げた生徒会を引き継ぎ、生徒全員の力を結集して取り組んでいきたいと所信表明しました。

